

教師向け
指導書

解説と指導のポイント付き!



2021年5月1日 初版発行
発行：独立行政法人 国際協力機構(JICA)
本書に関するお問い合わせ：JICAアフリカ部アフリカ第三課
〒102-8012
東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
Tel：03-5226-8215(年末年始土日祝日を除く9:30～17:45)
E-mail：6rta3@jica.go.jp
URL：https://www.jica.go.jp/



監修：落合雄彦(龍谷大学 法学部 教授)
編集制作：株式会社 ワン・パブリッシング
編集協力：株式会社WILL
表紙写真：©Getty Images, ©Shutterstock.com
イラスト：ルコラニコラ, 伊藤美樹
デザイン：chocolate.

国連SDGs HP(<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>)
The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.



JICAは、日本の政府開発援助(ODA)を行う機関として、開発途上国への開発協力を実施しています。



主体的・対話的で
深く学べる
「アクティブ・
ラーニング」
教材

※国旗は、国連と同じく3:2のサイズで掲載しています。

シリーズ

『みんなが知らない アフリカのこと』

本シリーズ教材の特徴と目的

シリーズ『みんなが知らないアフリカのこと』は、アフリカの本当の魅力と、等身大の今を伝える教材です。社会、歴史、文化などを通

してアフリカに関心を持ち、日本との関わりや国際協力についての理解を深めていくきっかけとなることを目的としています。

教材紹介

A アフリカ編・動画1本



ポイント

クイズを楽しみながら、アフリカに関する意外な発見や新しいイメージを喚起することができる教材です。授業の導入場面で使うのが効果的です。再生時間は約4分。

B アフリカ編・紙教材1冊



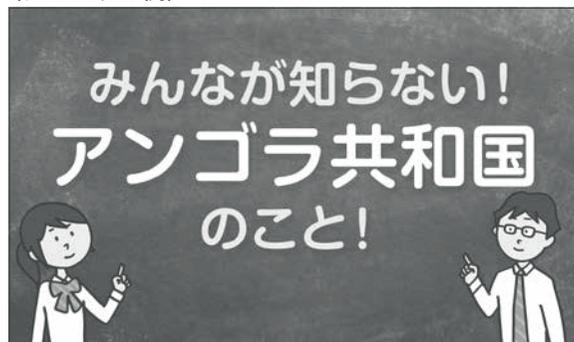
ポイント

想像以上に大きく、多様で、ポテンシャルの高いアフリカをさまざまな角度から紹介しながら、アフリカのかかえる課題についても考えていきます。

●目次

- ・巨大な大陸アフリカ!
- ・けたちがいのダイバーシティ!
- ・世界がうらやむ資源の宝庫!
- ・注目のアスリートがひしめく!
- ・身近なモノでつながっている!
- ・人もこんなにつながっている!
- ・こんなふうに進んでいくよ!

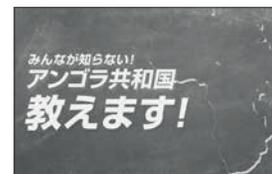
(アンゴラの例)



C 各国・動画10本

ポイント

再生時間は約4~5分。アフリカの各国それぞれについて、「もっと知りたい」気持ちを引き出すのに適した教材です。



●ラインナップ

各国動画は、下記の10か国を用意しています。

- ・アンゴラ共和国
- ・ウガンダ共和国
- ・サントメ・プリンシペ民主共和国
- ・ジブチ共和国
- ・ベナン共和国
- ・南アフリカ共和国
- ・南スーダン共和国
- ・モザンビーク共和国
- ・リベリア共和国
- ・ルワンダ共和国

D 各国・紙教材10冊



(アンゴラの例)

ポイント

アフリカの各国それぞれがもつポテンシャルや課題を解説しています。その課題にJICA(4、5ページ参照)がどう協力して、解決を模索しているのかがわかります。

●ラインナップ

各国紙教材は、下記の10か国を用意しています。

- ・アンゴラ共和国
- ・ウガンダ共和国
- ・サントメ・プリンシペ民主共和国
- ・ジブチ共和国
- ・ベナン共和国
- ・南アフリカ共和国
- ・南スーダン共和国
- ・モザンビーク共和国
- ・リベリア共和国
- ・ルワンダ共和国

A~Dの動画や紙教材は、下記のJICAウェブサイトから入手できます。それぞれの教材を組み合わせることで、各国についてより深く理解したり、学習の幅を広げたりすることができます。

『みんなが知らないアフリカのこと』アフリカ編・各国教材の入手はこちらから

➔ <https://www.jica.go.jp/africahiroba/ticad/publication.html>



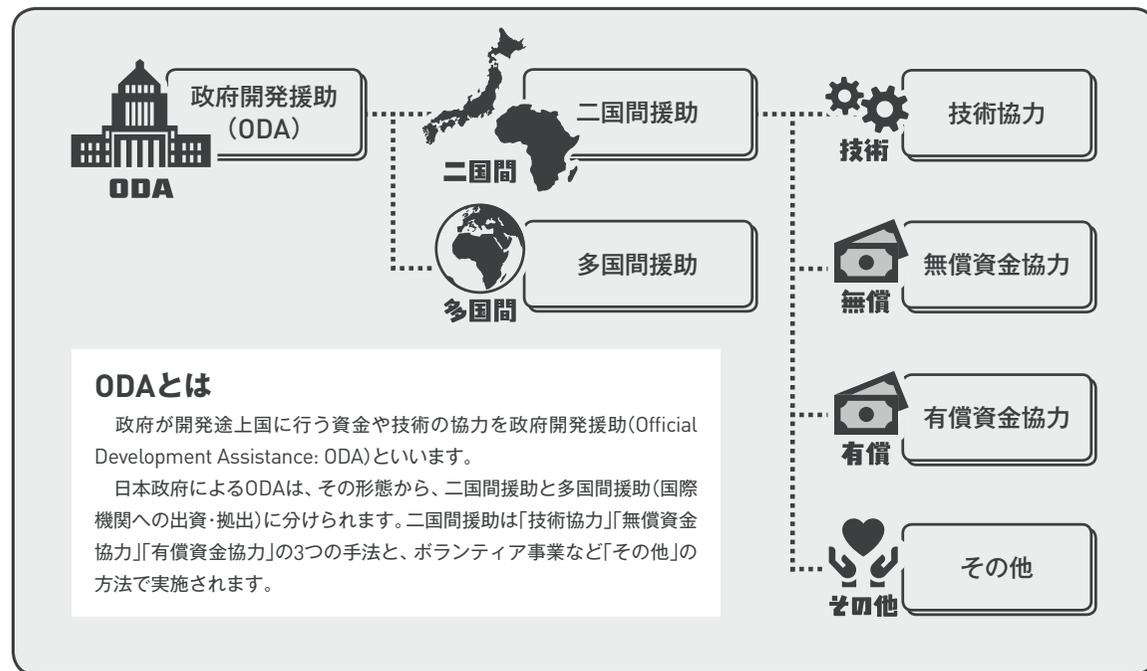
国際協力って何だろう

APPROACHES TO TEACHING

国際協力とは

世界には196の国がありますが、そのうち140か国以上が開発途上国と呼ばれる国々です。貧困や紛争などの問題をかかえる開発途上国もあります。今日のグローバルな社会では、感染症の蔓延や環境破壊、テロ、紛争問題は、世界中の生活に影響を及ぼすもので、決して開発途上国だけの問題ではありません。

国際社会全体の平和と安定、発展のために、開発途上国・地域の人々がかかえる課題の解決を支援することが、国際協力です。国際協力には、国が行う協力や多国間で行われる協力以外にも、民間企業や組織、NGO、大学、地方自治体、そして市民自身による協力があります。各々の強みを生かした取り組みが進められています。



ジャイカ JICAの役割は？

JICAは日本の二国間援助の中核を担う開発援助機関です。開発途上国が抱える課題の解決に貢献するため、世界の約150の国と地域で事業を展開しています。

支援の方法としては、日本の技術・知識・経験を生かして人材育成や制度づくりに協力する技術協力、返済義務のない資金を供与し、学校・病院・道路など基礎インフラの整備を支援する無償資金協力、緩やかな融資条件(長期返済・低金利)でインフラ整備などの資金の貸し付けを行う有償資金協力を中心にさまざまなもの

があります。

このほか、災害時の救助や復興を担う国際緊急援助、JICA海外協力隊などのボランティア事業や、NGO、地方自治体、大学などの国際協力活動を支援する市民参加協力も行っています。近年は、日本の民間企業の優れた技術や製品の導入、事業への参入を側面から支援する民間連携や、開発途上国からの留学生の受け入れなども行っています。

教育現場と関連するJICA事業



・ JICA海外協力隊 ・

JICA海外協力隊[※]は、開発途上国のニーズに見合った技術や知識、経験をもち、それを「途上国の人々のために生かしたい」と望む、20～69歳までの人たちが活躍するJICAのボランティア事業です。

募集する仕事は、現在120種類以上。学生時代や社会人としてのキャリアを生かして、各種スポーツの指導者、理科や数学、美術、音楽などの教員と

して活動している若者も多く、帰国してから中学校で教えている先生もいます。開始から55年を超え、2020年度末現在、累計で約5万5000人が世界98か国で、多様な形の支援を行ってきました。

【計画・行政】 国・地域づくりに関わる仕事 (コミュニティ開発、コンピュータ技術など)	【農林水産】 食べ物や自然に関わる仕事 (野菜栽培、家畜飼育など)	【鉱工業】 ものづくりに関わる仕事 (自動車整備、金属加工など)	【人的資源】 教育やスポーツなど人を育てる仕事 (小学校教育、体育・スポーツなど)	【保健・医療】 命に寄り添う仕事 (看護師、理学療法士など)
【社会福祉】 福祉に関わる仕事 (ソーシャルワーカー、障がい児・障がい者支援など)	【商業・観光】 マーケティングや観光に関わる仕事 (観光、経営管理など)	【公共・公益事業】 生活サービスに関わる仕事 (土木、廃棄物処理など)	【エネルギー】 エネルギーに関わる仕事 (電力など)	

※JICA海外協力隊：青年海外協力隊などを含めた総称。

・ 国際協力出前講座 ・

ますますグローバル化が進む世界を生き抜いていく子どもたちのために、JICAでは出前形式で国際理解教育を行っています。講師を務めるのは、JICA海外協力隊の経験者。途上国での活動を通して、肌で感じた現地の人々の暮らし、文化、環境、そして国際協力の仕事について知ることができる講座になっています。

学校を中心に、毎年全国で1500件以上、約15万人が受講しています。

*申し込みは、お住まいの地域のJICAデスク(国内協力推進員)もしくは各拠点へ。
<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/practice/delivery/index.html>

・ エッセイコンテスト ・

JICAでは、次の世代を担う中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人一人がどのように行動すべきかを考えることを目的として、「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」を行っています。

毎年2月ごろに募集テーマが公開され、6月ごろに募集を開始。中学・高校最優秀賞と優秀賞(各3人、計12人)には1週間の海外研修、その他の各賞には賞品、そして参加者全員に参加賞が贈られます。

*募集などの詳細は下記で見られます。
<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/index.html>

「アフリカ編紙教材」の 指導のポイント

TEACHING PLANS AND EXAMPLES

2~5 ページ

導入・発問例

- 1 アフリカ大陸について、どんな知識やイメージを持っている？
- 2 よく目にするメルカトル図法以外の地図があることを知っている？
……社会科
- 3 アフリカの人口構成にこのクラスの人数を当てはめると、どうなるかな？
……数学科
- 4 日本とアフリカの人口構成の違いから、どんなことがわかる？
……社会科

* 発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

用語解説

*1 「ICT」
情報通信技術。=Information and Communication Technologyの略称。

指導のポイント

アフリカは、巨大な1つの大陸と複数の島々から成り、現在54の国々が集まっています。面積はおおよそ3000万km²と、日本(37万8000km²)の約80倍。気候や風土、文化、言語、人種もさまざまで、一口に「アフリカは……」とくくることはできません。まずは地図や人口統計のグラフなどから、大陸の広大さや「若さ」を実感できるようにします。

また、球体である地球を平面に落とし込んだ地図では、距離、面積、角度、方位のすべてを正しく再現することはできないことなども押さえましょう。

指導のポイント

アフリカの魅力は、野生動物と大自 然 だけではありません。一口に自然とい っ ても、広大なアフリカは美しいサンゴ礁の海や島々、巨大な湖、滝、大河、そして大砂漠、大地溝帯*など、非常に多彩な表情もっています。また、大都市のマンションで現代的な

生活をする人、地方で伝統的な暮らしを守り続ける人など、人々の生活や文化、言語などの多様さは、日本に暮らす私たちの想像を超えています。個人、またはグループ別に、アフリカにおける「多様性」の幅の広さを実感できるような、調べ学習を進めるとよいでしょう。

導入・発問例

- 5 外国へ旅行するなら、どんな場所に行ってみたい？(都市、山、海、湖、島、滝、砂漠、遺跡など)
……社会科
- 6 世界三大〇〇(山脈、河川、湖など)を知っている？
……社会科
- 7 アフリカに旅行するなら、何語を勉強していけばいいと思う？
……英語科
- 8 英語以外に(あいさつや単語などで)知っている外国語はある？
……英語科

* 発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

さまざまな地図の図法

図法	メルカトル図法	モルワイデ図法	正距方位図法
特徴	緯線・経線が直角に交わる。角度が正しいため、航海図として使われる。	面積を正しく表す。主に分布図に使われる。	中心からの距離と方位を正確に表す。航空図として使われる。
短所	高緯度の地域が拡大。面積や方位を正しく測ることができない。	距離や方位が正しくない。	面積や角度は正確に示されない。

アクティブ・ラーニング!のポイント

たとえば、白地図を使って公用語マップをつくる、気候帯マップをつくる、特徴的なアートを集める、さまざまな言語の「ありがとう」を調べる、音楽やダンスについて調べたあとは、タブレットなどで動画や音声も使った発表の機会をつくりましょう。

調べ学習に使える! /

🔍 検索ワード

.....

🔍 アフリカンアート

.....

🔍 アフリカ 世界遺産

.....



* 大地溝帯: エチオピア高原からケニア、タンザニア、マラウイ、モザンビークへ続く世界最大の地溝。現在も活発な地震活動と火山活動が続いており、アフリカプレートはこの地溝帯によって裂けつつある、と考えられている。

発問例

- 1 天然資源には、どんな種類がある？
……理科
- 2 鉱物資源の名前を英語で言えるかな？
……英語科
- 3 レアメタルやレアアースって知っている？ どんな製品をつくるのに使われている？
……理科
- 4 天然資源をみんなが欲しいだけ採っていたら、どんなことが起こると思う？
……道徳科

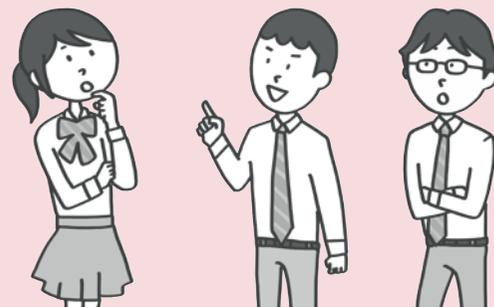
* 発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

用語解説

- *1 「天然ガス」
地下から噴出するガスのうち、可燃性のガスを一般的に天然ガスと呼ぶ。燃料として使われるほか、メタノールやアンモニアの原料としても大量に使われている。
- *2 「ウラン」
原子力発電の燃料として使われている。
- *3 「レアメタル」
地球上にあまり存在していないか、技術的・経済的に抽出が難しい金属で、安定供給が重要なもの。コバルトやニッケルなど。
- *4 「レアアース」
レアメタルの一つ。原子番号57番のランタンから71番のルテチウムまでの15元素に、スカンジウムとイットリウムを加えた17元素の総称。他の金属に微量をまぜることで、各金属の性質を飛躍的に向上させることができるという特徴をもっている。

指導のポイント

工業原料となる資源が乏しい日本では、そのほとんどを海外に依存していますが、アフリカには、今や私たちの毎日の生活に欠かせないさまざまな資源が豊富です。鉱物資源、森林資源、水産資源など、天然資源にはどんな種類があり、それぞれの資源は私たちの生活にどのような形で使われているのかを調べるとよいでしょう。人々の欲望が、天然資源の乱獲や消費、さらには資源をめぐる紛争・内戦にも深く関わっていることがあります。近年は、企業が投資する際にESG(環境Environment、社会Social、ガバナンス* Governance)の要素が考慮されるなど、SDGsに合わせた持続可能な企業経営も注目されています。



*ガバナンス:ここでは企業統治をさす。経営が健全に行われるように企業経営を監視するしくみのこと。



発問例

- 5 日本で活躍しているアフリカのアスリートを知っている？
……社会科
- 6 スポーツの競技名を英語で言ってみよう。
……英語科
- 7 ネットボールのルールを学ぼう。実際にやってみよう。
……保健体育科
- 8 どんな障がい者スポーツを知っている？
……道徳科

* 発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

指導のポイント

部活動などで自分の行っているスポーツや関心のあるスポーツで活躍している、あるいは、日本のプロリーグや大学、実業団などで活躍しているアフリカの選手のこと、また障がい者スポーツのことをグループ別に調べたり発表したりしましょう。

アフリカでサッカーやラグビー、バスケットボール、マラソンや陸上競技(短距離・中距離走)が盛んな理由、オリンピックのメダル獲得数に国による大きな差がある理由も考え、経済的に豊かな国ほどスポーツ選手を育てる力をもてる点にも気づけるようにしましょう。

●アフリカの(夏季)オリンピック メダル獲得数ランキング

1 ケニア 出場14回	2 南アフリカ 出場19回	3 エチオピア 出場13回
金31、銀38、銅31	金25、銀32、銅29	金22、銀10、銅21
合計100個のメダルのうち、マラソン、陸上の中・長距離が94個。	冬季オリンピックにも、過去7回出場している。	計53個のメダルは、すべて陸上競技で獲得している。

日本のメダル獲得数は？
日本は、夏季オリンピックの出場回数が21回(2016年リオデジャネイロまで)。金メダルを142個、銀メダルを134個、銅メダルを165個獲得しています。

*お役立ち資料

『オリンピック・パラリンピックで知る 世界の国と地域(6) アフリカ』 小峰書店

発問例

- 1 オクラがアフリカ原産の野菜だって知っている？ほかにどんなものがアフリカ原産だろう？
……家庭科
- 2 コーヒーベルト*やバナナベルト*という言葉を知っている？
……社会科
- 3 ダイヤモンドの産出量が多いアフリカの国を調べてみよう。
……社会科
- 4 自分ならアフリカに何を輸出してみたい？
……社会科

*コーヒーベルト：
赤道を中心に南回帰線から北回帰線の間で、コーヒーの木の栽培に適した熱帯地域。世界地図を広げると帯のように広がっているため、ベルトと呼ばれる。

*バナナベルト：
赤道をはさんで南緯30度から北緯30度に帯状に広がるバナナの主要生産地域。ある程度の暖かさや雨量がある熱帯・亜熱帯地域がバナナ栽培に適している。

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

身近なモノでつながっている!

1 アフリカ → 日本

- 海産物・農産物 (魚、野菜)
- 電気(天然ガス)
- ダイヤモンド (アフガニスタン)
- コーヒー豆・ココア豆

2 日本 → アフリカ

- 自動車
- 家電 (テレビ、洗濯機)
- 食料品 (魚)
- アニメ (ドラゴンボール)

人もこんなにつながっている!

5 アフリカで暮らす日本人

6 アフリカ → 日本

7 日本 → アフリカ

8 国際協力をつなぐ人々

JICAって知ってる?

JICA海外協力隊って?

発問例

- 5 行ってみたい国、住んでみたい国はどこ？その理由は？
……英語科
- 6 外国人の友達や知り合いがいる？
……英語科
- 7 日本で働く(活躍する)外国人には、どんな人たちがいる？
……キャリア教育
- 8 日本以外の困っている人や災害に対して、募金をしたことはある？
……道徳科

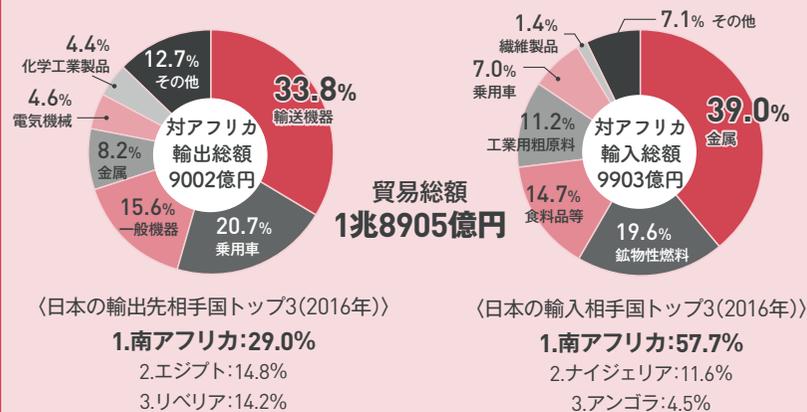
*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

指導のポイント

アフリカとはあまり直接的な関わりがない、と思っている私たちの身のまわりに、アフリカ原産の野菜や果物、さまざまな食品だけでなく、レアメタルを使った製品などがたくさんあることに

気づく活動につなげましょう。生徒の習熟度に応じて、コーヒー豆やカカオ豆といった農産物や鉱物資源などの輸出に頼るモノカルチャー経済*の利点と問題点も考えてみましょう。

●日本とアフリカの経済関係 (出典:財務省貿易統計、JIRO) 外務省パンフレット「日本とアフリカ」より



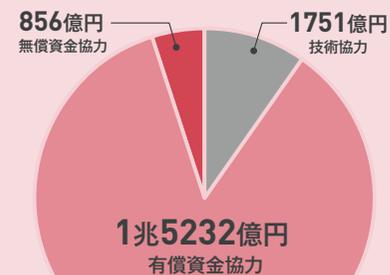
*モノカルチャー経済:国内の生産や輸出が、1つまたは2、3品目の農産物や鉱物資源に特化している経済のこと。

指導のポイント

安全な水が手に入らないことや、教育が受けられないことなどが、どんな問題を引き起こすのでしょうか。その問題に対して、自分なら何ができるかを考えてみましょう。さらに、ODAやJICAの活動(4~5ページも参照)について学び、不足しているものを

を提供すること(給水施設・学校・病院・道路などの建設や、食料や医薬品の援助)と、技術協力や人材育成(稲作技術の指導、教師や助産師の育成)を調べ、それぞれの意味や必要性についても考察を深めましょう。

●2019年度のJICAの活動



●技術協力の実績 (単位:億円)

技術協力 計	1751
専門家派遣	572
調査団派遣	363
研修員受入	170
青年海外協力隊/海外協力隊派遣	82
その他海外協力派遣	18
機材供与	15
その他	531

*各事業額は小数第1位四捨五入のため、合計値と合わないことがあります。

[年次報告書 2020] (JICA) より

*お役立ちサイト

国際協力・ODA・JICAってなんだろう? (JICA)
<https://www.jica.go.jp/aboutoda/whats/index.html>

『日本とアフリカ』PDF(外務省)
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000087153.pdf>

探検しよう!
みんなの地球(外務省)
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaiatsu/chikyu/index.html>

JICA地球ひろば(JICA)
<https://www.jica.go.jp/hiroba/index.html>

「アフリカ編紙教材」の指導のポイント

14~15ページ

発問例

- SDGsって知っている？
どんなところで見かけたことがある？
- SDGsを英語で言える？
どんな意味があるのかな？
……英語科
- SDGsのマークはそれぞれ何がデザインされている？ その意味は？
……美術科
- 自分の周りの社会を考えると、特に大切な、と実感するのはどの目標？
……道徳科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

アクティブラーニング!のポイント

17のゴールのカードを使い、自分の考えるジャンル別にグループ分けをしたり、自分に関わりの深いものや、自分にとって優先順位の高いものを順に並べたりして、各項目について調べながら考えていくことで、それぞれの意味や関連性などについて、理解を深められるようにしましょう。

SDGsカードなどSDGsを学べる教材 (JICA)
<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/material/sdgs.html>

*お役立ちサイト

SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは?
17の目標ごとの説明、事実と数字(国連)
https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounds/31737

「行動の10年」
できることから始めよう! (外務省)
<https://www.youtube.com/watch?v=DD4QtKZWkYw>

SDGsの目標「私たちが作る持続可能な社会」(外務省・日本ユニセフ協会)
https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_navi.pdf

ゴー・ゴールズ子どものためのSDGsすごろくへようこそ ダウンロード
<https://go-goals.org/ja/>

SDGs国連広報センター『持続可能な社会のために ナマケモノにもできるアクションガイド』(国連)
https://www.unic.or.jp/files/sdgs_201901.pdf

まんがでよくわかる!
「地球防衛隊SDGs」(学研キッズネット)
https://kids.gakken.co.jp/kagaku/nandemo/edf_sdgs_01/



指導のポイント

- SDGsの学習で大切なのは、
- ①まずはSDGsの目標を知ること
 - ②自分にもできることがないか考え、それを周囲に伝え、話し合うこと
 - ③持続可能な生活に向け、小さな一歩からでも行動すること
 - ④自分や周りのみんなが行動できたことを認め合い、次の行動につなげること
- です。17のゴールのマークを入り口に、生徒の発達段階に応じて、SDGsに関するパンフレットや動画、下記のお役立ちサイトなども利用しながら、意見を出し合い、考えを深めていきましょう。

SDGs 授業でどう 展開する?

SDGsのカラフルな17のシンボルマークが示すものは、一見とつきやすいようでいて、詳しく掘り下げようとするれば、一つ一つがなかなか手ごわいテーマです。

これは、紙教材の各所に配置されたSDGsマークがただの飾りになってしまわないよう、まずは教師がSDGsの本質を理解し、生徒たちに大事なポイントを伝えながら、実際の行動に結びつく授業を展開するためのページです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



まずはSDGsのおさらい

SDGs:Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された国際目標です。

2030年までに、持続可能でよりよい世界を目指すための17のゴールと、それぞれのゴールを達成するための169のターゲットから構成され、地球上の「だれ一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

たとえばSDGs1「貧困をなくそう」には、「2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、

すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる」など、7項目の具体的なターゲットが書かれています。

SDGsの特徴は、開発途上国だけではなく、先進国も対象になっていること。つまり、2030年の世界の主役となる、中学生たちのミッションでもあるのです。

私たちは、自分の子どもやその子ども、さらにはその子どもたちへ、ずっと住み続けることのできる、平和で豊かなよりよい世界を手渡すための、生活や開発を行っていかねばなりません。

SDGs 授業でどう展開する？

Step1. 知る

SDGsには17のゴールと169のターゲットがありますが、これは単なるチェックリストではありません。まずはSDGsの意味と、本当の目的を学ぶように、それぞれのゴールマークやターゲットについて、さまざまな資料や動画なども活用しながら、学びを深めていきましょう。

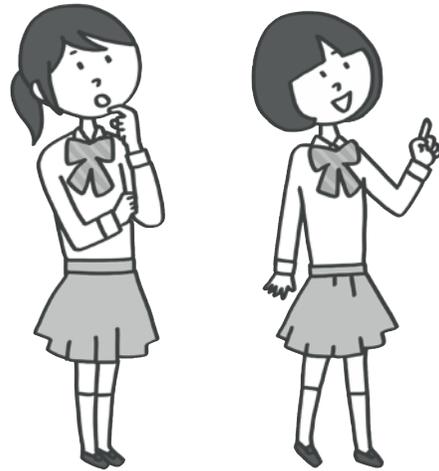
SDGsの3つの要素

SDGsには、目標達成のために欠かすことのできない3本の柱(3つの要素)があります。それは、「経済成長」と「社会的包摂」、そして「環境保護」です。

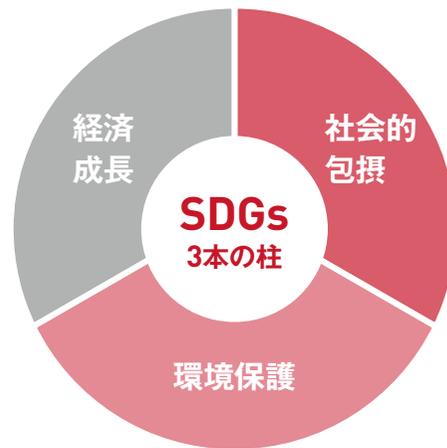
社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)とは、どんな立場の人でも社会的つながりから排除することなく、社会の構成員として取り込み、ともに社会をつくってこうとする取り組みのこと。「だれ一人取り残さない」の精神です。

経済成長と社会的包摂、そして環境保護という3本の柱は、それぞれが深く関連し合う、平和で安定した持続可能な社会をつくるために不可欠な要素です。

たとえば途上国でも先進国でも、貧困問題を経済成長だけで解決することはできません。すべての人により多くの機会を提供し、基本的な生活水準を向上させるとともに、持続可能な発展のためには、みんなが共生



できる社会開発が必要です。同時に天然資源や生態系が失われないよう、維持・管理をしていくことも、もちろん欠かすことはできません。



用語解説

「持続可能」

sustainableは、「持続できる」という意味。現代の私たちの生活は、地球の資源を使い、空気や水を汚し、気候変動を引き起こしています。このままの生活様式を進めれば、破綻する日が来るかもしれません。

「持続可能な開発」とは、私たち現代人のニーズを満たしながら、将来の世代が私たちと同じように地球の空、海、大地からの恩恵を受け、平和で安定した生活を送ることができるような発展をしていこう、という大きな目標です。

「だれ一人取り残さない」の意味

「だれ一人取り残さない」とは、貧困・飢餓の撲滅や、保健・教育・水衛生・電気をすべての人へ普及することを目指す、SDGsの最重要原則の一つです。さらに、性別や年齢、障がいの有無、育った環境や立場、意見の違いにかかわらず、すべての人が平等に生きることができる時代をつくるのが目的です。

一つのクラスに限っても、すべての人が満足し、楽しめるイベントを企画するのは簡単なことではありません。しかし多数決で少数派を切り捨てるのではなく、アイデアを出し合って対話を続け、対立を乗り越えていくことがSDGs達成の重要なプロセスです。

Step2. 考える、伝える

SDGsのゴールやターゲットは、中学生の生活からは壮大なテーマに見えるかもしれません。しかしまずは自分の身のまわりのことから始めればよいことを伝えましょう。

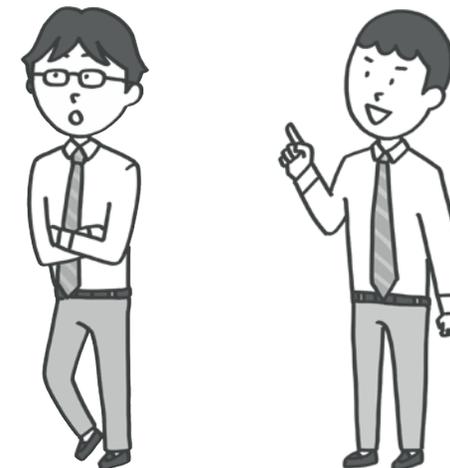
たとえば、水泳が好き⇒きれいな海を守りたい⇒海岸の清掃をしよう⇒プラスチック汚染を防ぐには？というように、自分の興味や関心を掘り下げていけば、そこには必ずSDGsにつながるテーマがあるはずです。

「もっと知りたい」と思うテーマを見つけたら、そのことについて調べるように促しましょう。政府やさまざまな機関、そして企業にも、SDGsの仕事を担当する人がいて、いろいろなHPやパンフレットがつけられていることも知らせましょう。

そしてわからないことや自分の考え、自分で立てた計画は、生徒自らが家族やクラスの友達などに伝えるようにします。さまざまな人の意見を聞くことで、新しいアイデアや協力を得ることができるようになります。

また考えるだけでなく、発信する、対話する(アイデアを出し合う)、意見の違いを乗り越える、というプロセスは、それに関わるすべての人が課題を「自分のこととして」とらえるきっかけにもなります。

クラスやグループで目標を立てる場合も、「興味がない人」「やりたくない人」も含めて、どうすればみんなが力を出し合えるか、全員で十分に意見を交わせるようにしましょう。相手の望んでいることを知り、自分にできることを探しながら、「置き去りにされる人をなくしていく」というのもSDGsの考え方です。



Step3. 行動する

はじめの一步は、自分の足もとから。自分の起こした小さな行動を周囲に知らせます。それをきっかけに、おおぜいの人と同じ行動をし始めれば、それは世界を変える大きな力になっていくことを伝えましょう。

すぐできる活動(例:マイボトルやエコバッグ、環境に優しい洗剤の使用)や、大人と一緒にできる行動(例:寄付やボランティア活動)を話し合ってみましょう。また、自分ができるアクションをリストにしたり、エコバッグの使用など現在行っているアクションを進化させたりする方法を考えましょう。

こういった小さな行動を実際に毎日積み重ねていくことで、一人一人が持続可能なライフスタイルを身につけていくことが目標達成につながります。

Step4. 評価する

コロナ禍によってはっきりわかったように、今日のグローバルな社会では、遠く離れた場所に出現した小さなウイルスが、世界中の人々の生活や行動を一変させてしまうことがあります。同じように、私たちの小さな行動は、いつも世界中の人々とその生活、そして地球環境とも深くつながっています。

授業を通じて実際に自分が立てた計画や起こしたアクションは、SDGsの17のゴールのうち、どれに、どのように貢献するのかを考えましょう。クラスやグループ内で、評価し合うのもよいでしょう。